

多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター  
指定管理者候補者選定委員会第2回要点録

日時: 令和3年8月12日(木)午前9時から午前12時まで  
場所: 多摩市役所 別棟 西第2・3会議室

出席者 ※敬称略

委員 5名(欠席者なし)  
事務局 10名

0 委員長より挨拶

1 資料確認

事務局より資料確認を行った。

2 応募状況・事前審査結果について

事務局より応募状況・事前審査結果について説明を行った。

3 プレゼンテーションの進め方について

事務局よりプレゼンテーションの進め方について説明を行った。

4 プレゼンテーション

プレゼンテーションの司会・進行は事務局が務めた。

ニ幸産業・NSPグループ(以下、応募団体)よりプレゼンテーションがなされた。

プレゼンテーション終了後、委員よりヒアリングがなされた。

以下、発言者については、委員=委、応募団体=応、事務局=事と表記。

委: 新型コロナウイルス感染症の影響を除いた中で、御社の最大の弱点とその原因は何か。

応: 13年の指定管理期間で、もっと地域貢献ができたと分析しており、最大の弱点であった。特に、自治会と更に繋がりを築くことで、大規模災害時に自治会と協力でき、指定管理者として施設を有効活用できると考えている。次期指定管理期間では重要視していきたい。

委: 売上原価および一般管理販売費内訳書のところで、業務委託費等の金額がマイナス表記されているのは何故か。また、現在の収入、使用料等が、新型コロナウイルス感染症の対策費と見合っているか。

応: 1点目は、本社経理に確認し、後日回答とさせていただきたい。

事: 次回の委員会までに確認、報告で問題ないか。

委・応: 問題ない。

応: 2つ目の質問について、新型コロナで非常に収入が減少している。今年と新型コロナ以前の年で7月のプール利用料金売り上げを比較すると、今年は50%の定員制限を設け、500人

を滞留の上限としていたが、新型コロナ以前の80%の売り上げに戻っている。新型コロナ対策費用は、手指消毒や色々な資材があるが、全体の支出と比べ多いわけではないと感じる。

委： 個人情報の取り扱いについて確認したい。クラスターが発生した場合に備えて、入館名簿等を作成していると思うが、その名簿を少し長めに保管するなど、破棄するまでの期間を変更したりしているか。

応： 当施設をご利用される方に入館するときに、個人情報取扱同意書をご記入いただいている。通常は施設で1カ月間保管している。1カ月経過とともに、シュレッダーで破棄している。万が一クラスター発生等があった場合は保健所、および所管課の指導を仰ぎながら、個人情報の取り扱いを含め、対応していきたいと考えている。

委： プールについて、1点目、施設利用再開の情報が分かりにくく、関係諸機関と連携した周知の効果を感じない。

2点目は、以前利用した際に、脱衣所は綺麗だが、脱衣所からプールまでのシャワーの部分や通路で、異臭がしていたので改善していただければ有り難い。

3点目は、事業計画書では夜の時間帯の講座が充実している。子育て世代は参加しやすいので、今後、夜の講座が増えてほしい。

応： 1点目、利用者の方に施設利用再開の情報を十分周知できていなかった自覚がある。今後はもう少し市民の方に分かりやすい周知方法を対策として立てていきたい。スマートフォン等で情報を入手する方も非常に多くなっている中、福祉センターも温水プールもホームページから情報が探づらいという意見を多く頂いている。次の指定管理期間にホームページのリニューアルを考えている。

インターネットを使わない方に向けて、掲示物・広報・掲示板とあらゆるツールを活用して、周知していきたい。また、インターネットを普段使えない高齢者向けにパソコン講座の実施など、デジタルデバイドと言われる今、情報にアクセスしやすいように、また背中を押してあげる講座を提案したい。

2点目の更衣室からプールに行く通路の異臭も自覚している。基本的に毎日この箇所を清掃しているが、換気が悪いことと、湿気があることに伴い、異臭が発生している。1ヵ月ほど前に、換気対策として扇風機を置いたことで、若干改善した。引き続き清掃を強化し、利用者の方が快適に利用できるようにしたい。

3点目については、普段お仕事をされている方、または子育てをされていて少し落ち着いた時間帯に利用したいという方のニーズにお応えできるよう、講座を増やしていきたい。プール以外にもインストラクターによる対面の教室だけではなく、新たに映像を使ったレッスンも提案していきたい。そういった事業は今までよりも、もっと増やしていきたい。

委： 南鶴牧小学校の水泳授業を温水プールで行うことは、日焼けの問題や、授業の体力的負担軽減の面から、子供や先生、保護者の満足度が高いので、今後とも継続して頂きたい。

委： 利用者の声を聞く所は設置されているが、それに対するフィードバックが明確化していない。苦情や要望があった際、苦情処理委員会等で議論された結論を利用者に広く伝えることを考えていただきたい。また、脱炭素化についての考えをお伺いしたい。

応： 利用者の声は組織で持ち帰り、会議で議論の上、改善をしている。更に、市の所管課にも月1回報告している。しかし、改善内容を公表していなかったため、今後は掲示板等を活用し、市民に見ていただく場を設けたい。いただくご意見は貴重な財産である。

脱炭素化については、今回私共のグループはSDGsの方で取り組む。ただ17の達成項目にいかに関与をさせるかではなく、KPIという数値目標を持ってそれを達成することによって、SDGs化しようということグループの中で話し合っている。もう一点、以前にグループ内で、温水プールの駐車場に電気自動車の電気ステーションを作ろうかという議論があった。当時は採算面で断念したが、技術が発展しているため、貢献の機会があれば積極的に指定管理者としても取り組んでいきたいと思っている。

委： 人、組織、事業、そして地域を「耕す」事業コンセプトは心に突き刺さった。実際に新しい事業を作っていくとかなりの開発プロセスが必要で、そこに人材を投入しなければいけない形になってくると思う。1点目として、現状、新しいプロジェクトを作る計画がどれくらいあるのか、加えてプロジェクトの開発体制、検討体制への人材配置をどのように考えているか教えてほしい。

2点目はリスク管理について。リスクマネジメント委員会を作り、ヒヤリハット等の研修について検討を重ねていくとあったが、リスク管理の活動計画があれば教えて欲しい。日々の業務の中で後回しにされてしまいがちなところであるため、活動計画がしっかり整っているのかをお聞きしたい。

3点目は地域貢献について。小学校、他の公共施設、社会福祉協議会、各防災拠点との連携は興味深い。ステークホルダーを増やしていくというKPIが定められているので、この部分は凄く良い。ステークホルダーを10団体くらい増やす点について、具体的な計画、またどんなことをやっていきたいか、教えていただきたい。

応： 1点目について、新たな事業展開にあたって、人員を増やす等もあるが、基本的には外部業者に委託をする等を考えている。例えば親子リトミック教室も、リトミック教室の企業団体に委託をする形で、専門的な見地のある方々にやっていただいた方が、よりお客様も我々も安心してお任せできる場所もある。そういった意味で今ある資源にプラスアルファで外部に委託するような形で考えている。

2点目のリスクマネジメント委員会は、必ず月1回、会議体を設けて実施している。利用者の声だけでなく、防水、防災、防火、犯罪抑止等、今抱えている問題について議論、検討している。開催頻度は月1回に限らず、必要に応じて増やすようにしている。

3点目の地域貢献については、今現在も障害者団体や様々な団体と連携を組んでいる。既存の繋がりが新たな繋がりを生むと考えている。市内サッカーチームからアクアブルー多摩を使ってトライアスロンチームの練習をさせてほしいという要望があり、前向きに回答差し上げた。今オリンピックが終わり、スポーツが注目されている中、市民の方がスポーツに触れ合う場を提供していきたい。

総合福祉センターでは、社会福祉協議会をはじめ館内の各団体と連携をしたい。実績としては、社会福祉協議会の障がい者デイサービスにある調理実習プログラムで、調理指導とレシピの提案などのコラボをした。また、5月に掲揚する鯉のぼりの修復を館内福祉団体の利用者の方にお手伝いいただいたこともある。昨年度、当団体のライフセーバーが社会福祉協議

会の水浴訓練担当職員に救命講習をしたこともある。なるべく多くの皆様と手を携えられたらと思っこのこの計画である。

委： 1点目の新たな事業展開について、業務委託という話は製品開発で言えば最後の段階の話。アイデアをどのように出すか、どのような製品にするかという手前のプロセスが大事であり、指定管理者が一番持っていけなければいけない点。地域連携やステークホルダーを増やすことは新しい事業展開にも繋がるので、地域連携やステークホルダーを増やししながら、事業展開のアイデアを膨らませていくことが大切。その辺はすぐリンクしているのではないかと思う。

リスクマネジメントの話は、新しい防災協定に対応して、災害対策のマニュアルも見直す必要がある。大変な仕事だが、丁寧にコツコツやってほしい。

もう一点 KPI について、目標が掲げられていて、今期もされていると思う。前回提案した部分への成果があって達成度みたいなのも是非知りたいので、その辺もわかるものがあれば、この場でなくても結構なので教えていただきたい。

事： 次回の委員会までに確認、報告で問題ないか。

委・応： 問題ない。

## 5 各委員評価表記入

事務局より評価表記入について説明を行った。

委員より仮提出用の評価表に事業計画書と応募団体のプレゼンテーションを踏まえた評価がなされた。

## 6 委員意見交換

### (1)意見交換前

事務局より意見交換について説明を行った。

事務局より、仮提出用の評価表の集計後、集計結果の分析が報告を行った。以下、分析内容。

- ・項目17、18、19、20は、委員の得点合計が満点の60%であった。
- ・項目21は、委員の得点合計が満点の52%であった。
- ・項目21は各委員の点数で、3段階以上の差があった。なお事務局から、公募対象施設の運営実績は市内事業所としての実績に含めないという認識である旨、説明を行った。

### (2)意見交換時

意見交換では、評価区分ごとに委員より以下の意見があった。

#### ①基本方針

- ・事業計画書P13、第三者評価機関による評価結果で、C評価は基本方針で2件と、組織管理で3件あったが、C評価の理由、改善策について説明不足だった。
- ・指定管理を十何年して地域連携が不足していた認識があり、今後は地域連携に特に力を入れていきたいという方針は悪くはなかったが、説明が足りているか疑問はある。

#### ②組織

- ・人員配置について、高齢者の方を活用していると想像できる。

- ・経営状況について、売上原価および一般管理販売内訳書のところで、業務委託費等の金額がマイナス表記であった部分は、正確な情報を報告して頂き、再判断する。
- ・同種施設の管理運営実績について、応募団体による他の施設の管理運営状況を踏まえ、実績があると考えられる。

### ③管理

- ・プールの危機管理について、利用者の立場から、監視員の数が多い印象を受ける。事務所にも常に人がおり、救助用の道具なども揃っている印象がある。
- ・危機管理について、夜中に震災が起きた場合の対応を、マニュアル含め検討すべき。また、施設職員と市職員が連携して対応できるよう、明文化・意識化する必要がある。
- ・コンプライアンスについて、労働関係法令の遵守状況、問題発生の有無は、資料・プレゼンテーションからは分からなかった。労働時間縮減への取組、正規雇用・非正規雇用の格差是正の取組も聞きたかった。
- ・コンプライアンスについて、個人情報保護法の遵守について現状の段階では問題はないと思われるが、令和3年改正個人情報保護法への対応については説明がなかった。
- ・公平な施設利用について、この施設の広告等を見たことがなく、一定の人が利用している施設という印象。情報格差の解消含め、まだ利用したことが無い方をどう集客するか、資料を読むだけでは分からなかった。
- ・公平な施設利用について、屋内で水泳ができる施設は誘致距離が長くなる傾向があり、市外の人も車で来て利用するという施設特性もある。既存の利用者を満足させれば良いといった考えではなく、公共的な施設であるからこそ新規の利用者を増やす工夫は大事であり、更に強化してもよい。
- ・自治会等の地域との連携を更に増やさないといけない。応募団体も自治会や学校等との連携を増やす目標を掲げているが、市職員とともに、事業者として十分な組織体制を築き、スキルを研鑽することが大切。この過程が出来てくると公平な施設利用にも繋がる。地域との繋がりは、無駄にしないで欲しい。
- ・アクアブルー多摩は夏になると市外からの利用者もいて駐車場が足りなくなる。また、地域との連携はコミュニティセンターの方が強いという印象である。市外も地元も満足させることは難しいと思われるが、今後に期待である。

### ④事業・サービス

- ・事業方針について、地域の特性をきちんと把握し、子育て世代の多さをターゲットにする方針を立てていること自体は大変適切である。子どもを呼び込むため、各地教室やイベントをやる話も非常に分かりやすかった。子どもを接点に呼び込むだけでなく、いかにリピーターにするかが今後の課題である。
- ・利用者増加方策について、新規事業の実施という点では、既に様々な事業を実施しているため施設として枠の余裕がなく、次に何の事業ができるか考える段階と思われる。外部へ水泳指導に行ったり、様々な団体とバザーをやったり、市民のために多様な事業の形を模索する時期ではないか。

#### ⑤コスト

- ・コスト全般について、各委員の評価は普通という認識。
- ・提案価格の妥当性について、今後5年分の収支計画において人件費が同じ金額である。現在、平均賃金が上がっている社会状況であることを踏まえると、違和感がある。
- ・指定管理導入から一定期間を経て、導入初期に期待されたコスト削減効果はあまりなくなってくると思う。民間が継続して運営していくので、コスト削減効果ばかり強調し過ぎず、サービスを維持・向上することも併せて検討していただきたい。

#### ⑥地域貢献

- ・市内事業者の活用について、KPI という達成目標で5年後に20団体にすると目標があったが、現在の達成状況が不明であった。
- ・市内事業者の活用について、プレゼンテーションの際に小さな積み重ねも大事にするとの話があった。地道な活動もしっかりされていくところは、一つ評価して良いポイントと思う。
- ・市内事業所の活用について、設備系の業務委託は専門家の力が必要になり、この部分を増やすことは難しいと思われる。ボランティア関係を活用する形で増やしていくと思われる。

#### ⑦総合評価

- ・応募団体の構成事業者である二幸産業の事業計画書の中で、各戦略概要についての言及があるが、あるべき姿と現状とのギャップが大きいものについては、どのような施策が追加・構想されたか気になった。
- ・新規事業の発端となる気付きを得る意識が指定管理者になればいけない。その意識を持ち改善をしていくことはスキルが必要だが、重要なことであり養っていただきたい。

#### (3)意見交換終了後

- 事務局より意見交換終了後の説明がなされた。
- 各委員より修正用の評価表の記入がなされた。

#### 7 次回以降の進め方について

- 事務局より次回以降の進め方について確認がなされた。
- 次回選定委員会は、8月19日(木)10:00~12:00 301会議室で開催予定。
- 委員長から閉会の挨拶を行った。